

Workshop Information

JICTER

日本国際トラウマ/緊急支援センターの略称。国内外の被災地を支援するため、心理社会支援の専門家ネットワークを日本に構築することをめざすプロジェクト。

“音楽を専門としないセラピストへの音楽セラピー”の紹介



音楽を専門的に学んでいない臨床家や社会心理的支援提供者でも、表現としての音楽をどのように臨床で活用することができるのか。PTSD防止やレジリアンシー向上への役立て方も学びます。多様なクライアントに音楽療法を用いる臨床に20年以上の経験を持つ、イスラエルからの講師がお迎えします。

◀前回のワークショップの様子。タッピングを体験しました。

日程・場所

日時：2016年2月13日(土)・14日(日)

場所：和光大学キャンパス

お問い合わせ先：contact@jisp.org

参加費

20,000円(2日間)

定員

15名

参加対象となる方

参加対象となる方：臨床心理士、医療関係者等、専門家として支援活動や臨床実践をされている方、あるいは大学院で基礎的な臨床心理の学び、訓練を受けている方

お申込方法

件名に「JICTER申込み」とご記入いただき、以下の内容を添えてcontact@jisp.orgまでお申し込みください。参加費のお振込を持ちましてお席を確保させていただきます。

- ①お名前 ②ご職業・所属 ③ご連絡先

講師

アドヴァ・ فرانク＝シュウィベル博士

音楽セラピスト。南米ウルグアイに育ち、イスラエル在住。

小児精神科、摂食障害、情動及び対人関係における障害の分野で20年以上の経験。イスラエル主要大学にて講師を務めた後、現在はエルサレムのグループファシリテータートレーニングインスティテュートで教鞭を執る傍ら、パレスチナの非営利組織「ライフ・ゲート」にて多様な専門分野のセラピストへ音楽療法の手法を教えている。

ご支援(寄付)のお願い

当団体の理念やプロジェクトにご賛同いただける方からのご支援(寄付)をお待ちしております。ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。



一般社団法人JISP(日本イスラエイド・サポート・プログラム)は、専門性の高い心のケアを通して、震災や人災にあわれた方・コミュニティの復興と発展をサポートする支援団体です。



プログラム中お世話になった皆さま、本当にありがとうございました!

お問い合わせ

宮城県仙台市青葉区小田原
5-3-60 コープ和香101号室
Tel: 022-722-8825
Fax: 022-722-8825
Email: contact@jisp.org
Web: http://jisp.org

未来創造プロジェクト

被災した若者が未来に夢や希望を抱き、実際に社会に出てから活躍できるよう、次世代のリーダーを育成するプロジェクト

東北とネパールがつながる!
JISP Youth Leader Training 2015実施!



2015年12月24日 - 29日の6日間、復興・社会に貢献できるリーダー育成を目的とし、被災体験をした東北とネパールの高校生10人が、体験の共有をすることで相互理解をし、復興への歩みについて学び合う宿泊型のトレーニングプログラムを行いました。

◀文化や言葉の壁を越え、東北とネパールに強い絆が生まれました!

未来につながる学びが得られた濃密な6日間

プログラム前半では、防災とPFA (Psychological First Aid) に関する専門的なトレーニングを受け、将来、震災が起きた時、どのように対応していくのか災害地域や被害状況を想定しながら学んでいきました。

後半は、石巻・気仙沼など東日本大震災で被害が大きかった地域を中心に“復興の歩みツアー”を行いました。復興に向けた活動をしている団体の方や石巻の高校生から話を聞いたり、自分のアクションプランを実現させるためのワークショップに取り組みとともに、唐桑半島の津波体験館を訪れたり、当時、避難所ともなった気仙沼のホテルのオーナーのお話を聞くことで、改めて震災当時の様子を学ぶことができました。

最終日には、このプログラム全体で学んだことを、今後の復興のためにどうつなげていくか、ネパールと日本の高校生が一つのチームとなり、プレゼン発表を行いました。参加者全員が今回学んだ防災トレーニングやPFAなどを、より多くの方に広めていきたいと力強く発表し、未来のリーダーに向けた一歩を踏み出しました。

心のケア学習では、自分の被災体験を共有する場面も▶

プログラム概要	
Day1 (石巻)	自己紹介・ウェルカムパーティー
Day2 (石巻)	心のケア学習(1) 防災トレーニング
Day3 (石巻)	心のケア学習(2) PFAトレーニング
Day4 (石巻・女川)	復興への歩みツアー(1) 日和山、石巻ニューゼ、「カフェ、コラボ・スクール女川向学館
Day5 (気仙沼)	復興への歩みツアー(2) ゲストハウス架け橋、唐桑半島ビジターセンター・津波体験館、ホテル望洋
Day6 (石巻)	学びの共有・振り返り発表・フェアウェルパーティー



参加者の声①

他の誰も盗むことのできない 知識、人脈、経験を得られた6日間

安田遥さん(仙台市在住・17歳)

今回のプログラムでは、自分のなかでも風化しつつあった、東日本大震災に関する記憶と、あまり身近とはいえなかったネパールの地震のことを自分ごととして落とし込む、とても良い機会になりました。復興を進めていこうとするすべての人たちにとって、このような機会は定期的に必要だと思います。

私はこれから受験生として勉強に本腰を入れますが、将来、私にできる世界平和の形をつくっていきたくて改めて感じました。そのためにまずは東北、仙台を熱くし、そこからさらに東京、日本、ネパール、世界とそれぞれの地域の架け橋になっていきたいと考えています。今回、PFAトレーニングのなかでそれぞれの場において必要なものをLINKするためには、LISTEN、LOOKが必要だと学びました。今後、様々な人の話しをもっと聞けるよう英語力を身につけ、ここで得た知識、人脈、経験を生かし、実際に世界で起きている問題解決に向き合っていきたいです。



▲震災からまだ1年も経っていないネパールの人たちの力にもっとなりたいたいと強く感じました。

参加者の声②

Every minute were unforgettable and the program has changed my sense of perspective

Smritee Subediさん(Kathmandu在住・17歳)

Before coming to this program I had guilt in me of not being able to do significant things during earthquake and handle myself in the chaos and I wanted to learn to take an initiative. This program has helped me grow as an individual.

I am very satisfied with Youth Leader Training 2015 because along with trainings it also focused on various other aspects like icebreaking, group activities, culture exchange which will be helpful for us in future too when we come across new people and new environment. The approach and contents of this program were really good. I got chances to meet inspirational people, do workshops with them, and all these have changed my prospects of looking at things. Every session had so much to give to us and still there was this stress free atmosphere. Another best part of this program was I never felt as if I was

wasting any time because every minute we were doing something, learning something. I have learnt so many things in such less time. I am actually really grateful to have been a part of this program and have this motivating journey.



▲ It was my first time to go abroad, and everything was new for me. They will be my best friends in my life!

参加者の声③

これまでになく刺激を受け、 次のチャレンジに向け背中を押される

Bishal Khattriくん(福島県在住・18歳)

今回のYouth Leader Trainingの参加者は、全員が地震や津波を経験していて、10人とも、将来、自分の町や国の復興のために何かやりたいという思いが強い人ばかりでした。実は、このプログラムに参加する前は、津波などの被害を受けていない僕が被災地の高校生代表という立場で参加するという事に少し抵抗がありました。しかし、プログラムが進んでいくにつれてそんな思いも消えていきました。このプログラムは自らの経験を語り合うだけの希薄なものではなく、自分に何ができるのか、どう行動すべきなのかを問いかけてくれるものだったからです。

僕は、この合宿に参加して今までになく刺激を受けました。自分と同じ高校生がこんなにも辛い思いをしているのに、それに負けないでいろんな事にチャレンジしていると知ったからです。今回多くの人に背中を押してもらったので、これから自分もいろんなことにチャレンジしていきたいです。

最後のプレゼン発表に向け、集中してプランを検討。▶発表後は、たくさんの意見をいただきました。



ネパールの復興に向け、ご支援をお願いします

2015年4月25日現地時間11:56、ネパールの首都カトマンズから北西81km付近のガンダキ県でマグニチュード7.9規模の地震が発生。地震後、JISPは支援活動のためネパールを訪れました。そこで我々は、災害後の対策が行き届かず、多くの人が不確かな情報に混乱し、二次・三次被害が拡大していく状況を目の当たりにしました。そもそもネパールには、「防災」という概念が定着していません。ネパールの各地域に、正しい知識を有し、身近な人々に寄り添えるリーダー

が必要だと痛感し、この度Youth Leader Training2015を実施いたしました。東日本大震災からもうすぐ5年を迎える東北にも、このようなリーダーは必要です。JISPはこれからも次世代のリーダーの育成に向けたプログラムを提供していきます。そして今現在困難な状況にある方たちのためにできることを皆さまの支援を元に実施してまいります。ネパールの方たち、そして東北の復興に向け、ぜひご支援をお願いします。

振込先

ゆうちょ銀行から

記号 **18100** 番号 **6992821**

ゆうちょ銀行以外の銀行から

普通預金 店番号 **818** 口座番号 **0699282**

※お振込みいただいた後、裏面のお問い合わせ電話番号にご連絡いただけますようお願い致します。